

研究テーマ

地元 に 愛着 を。

— 将来の産業を開拓する人材を目指して —

岐阜県立多治見工業高等学校

多治見工業高校ってどんな学校ですか？

「正しく 強く 明るく」を校訓とし、岐阜県で唯一の「セラミック工学科」を有する学校です。今年で創立 125 年を迎え、卒業生の中には人間国宝やプロ野球選手、オリンピック選手も輩出しています。

セラミック工学科、デザイン工学科、電子機械工学科、電気工学科があり、地域や企業の皆さんと連携した学習を目指します。



多治見工業高校正門

この研究テーマを選んだ理由は・・・

地域には多治見市伝統の陶磁器産業があり地場産業として栄えてきました。しかし今、将来の担い手問題は陶磁器産業を始め深刻な問題となっておりこのテーマを選びました。

取り組んだ内容とその成果と課題は・・・

○Mama's Caféとの連携事業（セラミック科）

◇3年ぶりに通常開催となった楽市楽座にて、TAKO ポーイズカフェを実施しました。製作した陶器製品を提供しカフェを運営しましたが、生徒も良い経験となりたくさんのお客様に喜んで頂きました。



TAKO ポーイズカフェ

○大東亜窯業(株)との連携事業（デザイン工学科）

◇「テーブルウェア デザインコンペ」において、生徒がデザインしたものが、どのように商品化されるかまで体験することができてとても良い経験となりました。また、養正小学校 150 周年記念シンボルマーク及び屋上壁画デザインを制作しました。



養正小シンボルマーク

○核融合科学研究所との連携事業（電子機械工学科）

◇4年前から実施している、地元の研究機関である核融合科学研究所との連携事業を通し、「空気圧機関車」を製作しました。

○電業協会との連携事業（電気工学科）

◇電気工事技術体験に加え、今年度は現場の方との交流会を実施することができました。

4 科の課題

◆地域連携により、本校への厚い信頼と期待を感じました。地域の将来を担う人材の育成にどの様に結び付けていくか課題です。

実践をとおして学んだことは・・・

地域と交流することで、様々なことを理解し発見もできました。身近な地域交流での「経験」により、専門的な知識や技術が人に役に立つことを実感し、喜びを感じるとともに、「責任」の重さを学びました。